

令和6年度 第6回恵那市社会教育委員会 会議録

開催日時：令和7年3月27日（水）

午後3時～4時45分

開催場所：恵那市役所会議棟 大会議室

■会議次第

1. 開会あいさつ
2. 教育長あいさつ
3. 社会教育委員長あいさつ
4. 議題
 - (1) 令和6年度第5回社会教育委員会会議録の承認について
 - (2) 令和6年度調査研究のまとめ
 - 柱1 家庭教育施策の調査研究～学童期を中心に～
 - 柱2 地域学校協働活動の状況調査～答申書の活用状況～
 - 柱3 三学塾塾長の役割と業務の実態調査
 - (3) 第56回東海北陸社会教育研究大会岐阜県大会兼第17回岐阜県社会教育推進大会の発表に向けて
5. その他
 - (1) 恵那市教育振興基本計画策定委員の推薦について
6. 閉会

・出席者の数：社会教育委員 14人中14人、事務局5人（以下のとおり）

社会教育委員

	役職	氏名	選出団体等	出欠
1	委員長	林 達夫	三学のまち推進委員会	早退
2	副委員長	山田 恵市	文化振興会	出席
3	委員	高草 環	図書館サポーターえな	出席
4	委員	山内 正一	学識経験者	出席
5	委員	相原 正文	恵那市青少年育成市民会議	出席
6	委員	森川 伸江	保育士・幼稚園教諭経験者	出席
7	委員	柘植 俊夫	民生委員児童委員協議会	出席
8	委員	小林 英文	壮健クラブ連合会	出席
9	委員	後藤 光男	NPOまちづくり団体	出席
10	委員	田口 容子	放課後子ども教室コーディネーター	出席
11	委員	各務 周和子	保育士・幼稚園教諭経験者	出席
12	委員	山口 清季	恵那ライオンズクラブ	出席

13	委員	阪上 美代子	恵那市スポーツ推進委員連絡協議会	出席
14	委員	藤井 志保	校長会代表（中野方小学校長）	出席

事務局

1	教育長	岡田 庄二	恵那市教育委員会	出席
2	課長	柄澤 史枝	社会教育課	出席
3	主幹	遠山 直美	社会教育課	出席
4	課長補佐兼係長	伊東 将昭	〃 三学運動推進係	出席
5	担当係長	今井 ちえこ	〃 三学運動推進係	欠席
6	社会教育指導員	丸山 眞理子	〃 三学運動推進係	出席
7	社会教育指導員	太田 礼子	〃 三学運動推進係	欠席

1. 開会あいさつ

（事務局）皆さま、こんにちは。本日はお忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。それでは、定刻となりましたので、これより令和6年度第6回恵那市社会教育委員会を開催させていただきます。それでは、はじめに岡田教育長よりあいさつ申し上げます。

2. 教育長あいさつ

（教育長）皆さんこんにちは。お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。今日、中日新聞に丸池の通学にバスを使うということで、開会前にも話していたところですが、時代も変わりまして、どちらがいい悪いではなく、昔なら「歩かせるでいいわ」という感覚で、身体を鍛えるということもありましたが、年々暑くなってきたり、イノシシが出たりという中で、通学が心配な部分でした。地域からのお声もいただきましたし、教育委員会、市も話しながら、何とか実現できて私たちも嬉しく思っています。いろんなところからご意見をいただきながら、子どもたちのためにより良い生活が実現できるように、協力いただければと思います。昨年度は、「地域学校協働活動の推進について」ということで答申をいただいて、いろいろな推進員の方が活動を進めていただきました。現実的には地域によって差もあるということですが、今日もまた状況等を交流していただけるとのことですので、特にQ&Aなど、実際のところがもっと膨らんでいくといいなと思っています。またお力添えいただけたらと思います。よろしく願います。

3. 社会教育委員長あいさつ

（委員長）本年度、取り組んでいただいて、みなさんの努力のおかげとっております。ありがとうございます。恵那市の社会教育については、とてもレベルが高いと思いますので、今後もよろしく願います。

4. 議題

（1）令和6年度第5回社会教育委員会会議録の承認について

（事務局）訂正等ありましたら、お知らせください。

(事務局) 本日の配布物の紹介をさせていただきます。冊子『令和6年度恵那市地域学校協働活動の取り組み』は1年間の活動をまとめたものになりますので、お目通しただけならと思います。恵那北小学校で小学校6年生が久須見城跡と猪狩山城のリーフレットを作りました。地域学校協働活動の中で作られ、笠置町の各世帯に配布されたそうです。もうひとつの冊子『令和6年度学校運営協議会の成果と課題』は、各学校のコミュニティスクールの活動が掲載されていますのでご覧ください。続いて『市P連だより』になります。次に『岐阜社教委』は県のお便りになります。『社教連会報』は全国のもので、最後に冊子『社教情報』もお時間のある時にご覧ください。

(2) 令和6年度調査研究のまとめ

(事務局) 今年度の最終回ということで、今回は、今年度の調査研究のまとめの回にしたいと思います。今年度は3つの柱を定め、取り組んでいただきましたので、まずは事務局から各柱の取り組み内容と協議内容を報告いたします。【資料に沿って説明】活動を振り返っていただき、追加のご意見ご提案がありましたらおねがいしたいと存じます。また、今年度全体を振り返っていただいた感想や、来年度に向けての要望やご提案がありましたら、ぜひご意見をお願いします。

(委員) 放課後子ども教室について、ここで話はしていましたが「何をしているのか、学童とは違うのか」と思われることもあったと思いますが、今年度実際に見ていただけてよかったです。各地域で開催していますので、みなさんの地域の活動を覗いていただくと参考になると思います。学童もどこかで見に行けたらいいなと思っています。

(事務局) 夏休みのみなど期間限定の校区もありますが、令和7年度からすべての校区で実施予定ですので、地元の教室に顔を出していただけたらと思います。私が中野方小学校の教室に参加した時には、柘植委員がいらっしゃいました。ご感想などあればお願いします。

(委員) ここでの視察後、12月に見学させていただきました。コーディネーターさんとも話をし、私もボッチャに参加させていただきました。こういう活動は、みなさんに知られていないかもしれないので知ってもらえるようになるといいと思います。その日、特に問題になるような子はいなかったように思います。

(委員) 子どもが事故で亡くなったと新聞に載っていました。警察にもお願いしないといけません。各地区の見守り隊とで危険箇所を調べて、子どもの危険を減らせるよう考えていきたいと思います。壮健クラブは恵那市から感謝状をいただきました。若者の事故防止対策に取り組みたいです。

(委員) どんなことでも、現場を見て知ることから始まると思います。「学童も見たい」と話がありましたが、スタッフの研修の場があるんですかね？私の子どもが小学生の頃は、私も参加したことがあります。子ども教室は参加率が少なくても、それはそれでいいことをやっているのだから、参加率のいいところを参考にさせてもらうのもいいかもしれません。放課後の居場所、安心して遊べる環境を作らなければ、熱中症や不審者の心配もあります。

地域学校協働活動の状況を聞いたわけですが、社会教育委員として「小学校のことも

知らず、学校の先生たちの顔も見えず、何にも知らないのに」と推進員さんに言われました。知らない者同士がひとつのテーマを語るというのは難しいと思いました。いろんなことを知ってからでないといけないなと思いました。自分の目を見て、声を聞いていくのが大事だと思いました。

(事務局) 今年度のテーマで、子どもたちの居場所を知ろうというところから、放課後子ども教室をまず視察しました。学童もですが、スポーツ少年団も居場所になっていることもあります。携わっているお立場から知ってもらいたいことなどあればお願いします。

(委員) 自分たちが取り組んできたこと、現場で何をしているか見たり、参加したりすると分かりやすいと思います。全体で見た時と、子どもと1対1で話した時とで違うので、学校の先生もやっていると思いますが、できるだけ、一人一人と話して子どもたちの思っていることを取り入れるというか、できるようにしていきたいと思っています。地域の子どもの活動を見に行けばいいのですが、一人ではなかなか参加できないので、社会教育委員会全体で見学するなどしてくれた方が参加しやすいです。

(事務局) 青少年健全育成のお立場からいかがでしょうか。

(委員) スポーツについては、健全育成を地域でやっていくということで動いてきました。学びの場を直接具体的な現場に行きましたが、また来年度もそのように現場に行く、またスポーツ少年団の報告を受ける、地域学校協働本部の推進員さんとの会合で推進員さんの意見を聞かせてもらうなどして、一步踏み込んでいけるんじゃないかと思っています。

三学塾塾長さんの役割、意見を聞いて試行錯誤している話を聞くこともいいですが、例えば地域ではどんなふうに行っているか、史跡巡りなどの体験とかもいいかと思っています。青少年育成の立場では、大井地区の社協との関連で、お年寄りが集まる土曜サロンに子どもも一緒に参加するなど、地域との連携がうまく取れるといいかと思っています。

(委員) 子ども教室の視察はとてもよかったです。図書館の「えなとクラブ」では、高校生より小学生が増えてきて、手伝いに来てくれます。図書館の本修繕の講座にも参加し、一緒にやってくれます。校区や地域はもちろんいいですが、地域を超えいろんなところから集まって楽しそうにやっています。放課後児童クラブは学校とは別ですね？学校はどう思っているのでしょうか。私は家から学校が遠く理解できていません。学校で推進員さんやボランティアさんが活動していても市民は知らない状況です。学校だよりなどで紹介してほしいと思います。

(委員) 学童の子どもも子ども教室に参加すればいいのと思いますが、参加しにくいハードルがあるのかな？と考えるといけないと思いました。学校が欲している支援は学校運営協議会で話していると思います。地域学校協働活動は、地域が出発点なので、先ほど出たサロンの案のような活動をどんどんしていくといいと思います。どんな地域を作っていくかがあって、それに向けて活動していきましょうというのがないと。時間はかかると思いますが、Q&Aに追加しながらやっていくしかないと思います。

(委員) 私は1年目で話を聞いて学んできたつもりですが、私は現場で地域自治区、塾長、推進員をやって地域の活動を色々見てきて、主任児童委員さんとも顔見知りになり、学校やこども園への訪問も定期的に行って、現状を聞きながら地域自治区に繋げるよう

にしています。しかし、個人情報のあることあるので、どこまでを地域に流すか検討しながら対応しています。社会教育委員とはその全体を見て、「地域はまとまりがあるけれど、ここを工夫したらもっと良くなるのではないか？」と現場から少し離れて見ていただいて、アドバイスをいただけたらいいのではないのでしょうか。地域にはいろいろな委員会などがあり、ずっとやってきているので、社会教育委員が「こういうことを議論しています」と言ったところで、それを取り入れて活動することはありません。今の実態で、その年、その時期で困ったことや相談したいことを把握して、いろいろなところに繋げていくという役割も社会教育委員が担っているのではないのでしょうか。私は地域において社会教育委員という立場でものを言ったことがありません。孫が学童に行っているの、毎日迎えに行っていて、指導員の先生方は、私や私の子どもの恩師であったりして、その方々の意見も参考になったりするので、聞きながら、どこかで相談があった時にお役に立てる立場でいいのかと思っています。

(委員) 学校のことやこども園のこと、自治区のことを分かっておられる委員はアドバイスできると思いますが、私は学校のことには分かりません。こども園のことは分かるので、そこにはアドバイスできますが、実態の分からないことには意見できません。昔は会議室で各課の職員さんから話を聞いていましたが、この頃は視察など入れてもらって、現場を知ることができています。現場を知っている方のアドバイスがあるといいと思います。

(委員) どちらも情報が欲しい。そこを繋ぐのがコミュニティセンターの塾長の仕事だと思うんです。私も地域の人、情報が欲しくてコミュニティセンターに顔を出します。他地域から来た塾長もいて、なかなか情報を集めにくい状況もみられます。本当は、コミュニティセンターに情報が集まってきて、困っている人に「こんな会議があるから参加してみようか」など、情報を提供できるようになるといいと思います。

(委員) ペンギンクラブを見せてもらって、あの人数で楽しそうにやっていました。地域の人が講師になってやってもいいかと思いましたが、地域の人には知らないと思うので、もっと宣伝できたらと思います。

(委員) 私は白川町在住でして、ここで勉強させていただき地元で何かできないかなと思、2年間参加させていただきましたが、ペンギンクラブを見せてもらったときに、「鳥の眼」とか「虫の眼」とか、帰ってからうちの孫たちとやってみました。恵南の福祉フェアや上矢作での話も聞きました。文化の継承のため子どもたちが一度出ていってもまた戻ってこられるように、地域のお祭りでのお神輿や花笠踊り、浦安の舞など呼びかけて来ていただけるように、大人にできることはやっていきたいと思っています。そんなヒントをここでいただきました。感謝しております。

(委員) お話を聞かせていただき、学校や子どもたちの様子を知ろうとさせていただいている社会教育委員さんたちがたくさんいるんだと、校長としてありがたいと思いました。お互いに知っていくことが大切だと思います。学校は、社会教育委員さんが学校や子どもを協議していただいていることを知らないと思うので、学校でそういう話をしたり、校長会の中で「社会教育委員さんがこんな話をしていた」と伝えたりしていくことが私の役割でもあると思いました。中野方町は、地域学校協働活動はうまく学校と連

携してやれている地域のひとつだと、校長としても実感しています。この冊子をみると、推進員さんを中心に、中野方町まちづくり連絡協議会の推進員さんと学校の教頭と連絡を取り合っただけのことができています。それを、学校では学習に繋げ、地域では子どものイベントに繋がっていくということで、お互いに関わりながらやれていてありがたいと感じるとともに、学校報などを使って発信していく役割もあるし、塾長さんは塾長さんの立場でまちづくりの広報などで伝えていくことが大事かと思いました。中野方町は地域の方が支えてくださってこういった活動ができている学校ですので、もし、知りたいということがあればお越しくください。

(事務局) ありがとうございます。皆様のご意見を来年に繋げていきたいと思います。

(3) 第56回東海北陸社会教育研究大会岐阜県大会兼第17回岐阜県社会教育推進大会の発表に向けて

(事務局) 今年10月に開催されます、東海北陸社会教育研究大会岐阜県大会の分科会で、恵那市社会教育委員会が発表を務めます。現在、プロジェクトチームで原稿の校正や、スライドの作成をしています。今年度の委員の皆さまに、現在の進捗状況の報告を兼ねて、発表内容を見ていただきます。正式には、来年度の委員さんに承認いただいからになります、途中経過ということでご覧ください。【相原委員：スライドにより説明】

5. その他

(1) 恵那市教育振興基本計画策定委員の推薦について

(事務局) 来年度、教育振興基本計画の策定が予定されています。事前に林委員長に相談させていただき、相原委員を推薦させていただきたいと思います。【承認】

事務連絡ですが、報酬と交通費の合計額を4月中にお支払い予定です。

12名の方が任期満了となります。改選について、各団体からご推薦いただいていることです。現時点で退任されることが明らかな委員さんにごあいさついただきます。

(山口委員) 2年間ありがとうございました。勉強させていただきました。

(藤井委員) 1年間でしたがありがとうございました。

6. 閉会あいさつ

(副委員長) 今のスライドにありますように、説明と質問が内容の社会教育委員会だったわけですが、そこからの転換を図って、ひとつのことに絞って勉強して提言していく形になりました。たとえ任期が短い方でも「それはどういうことか?」と思われることが、大切なご意見となりました。市民の方をみると「そんなことは知らない」という方もいると思います。委員長が軸となって、一定の成果を上げてまいりました。一番長く務めた地域学校協働活動推進員さんがこの3月で交代します。交代の時期も大事だし、私たちも見えていかななくてはなりません。

第三次総合計画がつくられています。20年後には、恵那市の人口は2万人近く減ると国が試算しています。それを受けつつ作っていくわけですが、私たちがこうして検討

してきたことが活かされていくよう見届けていきたいと思います。今年度最後の会となり、みなさんのご意見を伺いありがとうございました。